

こだわりの味を堪能 白鷹そばまつり



3月7日、土里夢館で、白鷹そばまつりが開催されました。そばの愛好家で作る「そばの里づくり振興会」が主催し、今年で4回目です。今回のそば粉は、町内で栽培された「階上（はしかみ）」が使われ、そば粉と小麦粉の割合が8対2の8割そばが準備されました。1食あたり2人前の大盛りのそば600食が用意され、小さな子どもからお年寄りまで多くのかたがおいしそうに味わっていました。

90人の決意新た! 立志式(東中2年生)



将来の夢や進路希望の実現など、自らの志を色紙と作文で表現する「立志式」が東中学校で行われました。式が行われた3月10日はちょうど公立高校の入学試験の日。2年部会長（和田敏昭さん）からのお話の後、各クラスの代表者が、全員の作文と書の前で決意を述べました。保護者一人ひとりから送られた激励メッセージで作られた応援旗をクラスの代表者が受け取り、新たな決意で再スタートを切りました。

社会人生活への第一歩! フレッシュヤーズ研修会



3月25日、パレス松風で新規学卒就職者激励会・研修会が行われ、4月から町内企業に就職するかたなど30人と、町内企業9社が参加しました。認定キャリアコンサルタントの小関美代子さん（山形市）を講師に招いた研修会では、新規学卒者に対して、新社会人としての心構えやビジネスマナーなどについてお話をいただきました。今回の事業は、町商工会が企画して行われました。

東根児童クラブ 「ふれあいつ子」開所式



3月21日、東根児童クラブ「ふれあいつ子」の開所式が行われました。以前から地元開所が望まれていた放課後児童クラブですが、4月1日より入所児童9人でスタートします。この日は、新入児とその保護者、町議会議員、区長、民生委員、その他関係者26人の参加により、暖かい雰囲気の中で式が行われました。「ふれあいつ子」は子ども達のもうひとつの家として、遊びや勉強の場になります。

人命救助で表彰

3月30日、西置賜行政組合消防本部で川部正人さん（萩野）と高橋敏雄さん（荒砥甲）のお2人に、長井市長から感謝状が手渡されました。お2人は、昨年10月5日、長井市内の仕事現場で、呼吸や脈が弱く、意識不明になっている男性（82歳）を発見。119番通報し、救急車が来るまでの間、川部さんが心肺蘇生を施し、男性の呼吸・意識が回復、命を救いました。川部さんは、以前に救命講習を受けられており、「緊迫した状況だったが講習を受けていたので対応できた。命を救うことができて良かった。」と話してくださいました。

